



2010-2011

ガバナー月信

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

Rotary International District 2710

2011年1月号

VOL.

7



霧の海の名所「高谷山」から見る日の出／三次市

今月はロータリー理解推進月間 特集／ロータリー財団地区補助金申請事業

CONTENTS

ガバナーメッセージ	2	クラブ紹介	10
ロータリー理解推進月間に寄せて	3	諸行事予定表(1月～6月)	11
ロータリー研究会に臨んで	4	会員増減・出席率	12
ガバナー年度を前に	5	第2710地区グループ紹介	14
ロータリー財団	6	新会員紹介	14
地区補助金申請事業一覧		文庫通信	15
米山記念奨学生研修旅行報告	9	国際大会へのお誘い	16

地区ホームページ(HP)をご覧ください <http://ri2710.com/>
ロータリー財団地区補助金申請事業一覧が掲載されています。



ロータリーの絆をもとう

～あくなき情熱と冷静で～



国際ロータリー第2710地区
ガバナー **前田 茂**



GOVERNOR'S MONTHLY LETTER 2010-2011

BUILDING COMMUNITIES-BRIDGING CONTINENTS／地域を育み、大陸をつなぐ



ガバナーメッセージ

ガバナー 前田 茂

～ 新年のご挨拶 ～

新年あけましておめでとうございます。

会員の皆様、会員家族の皆様におかれましては新しい年にむけて、夢と希望を胸に秘めながらの初春であろうと察し申し上げます。

昨年中は、私にとりましては怒濤のような年であったかと思えます。人生の中におきましても、起伏があつてこそ次なる景色があらわれるわけでありますので、与えられる物は真摯に肅粛と受けとめなくてはなりません。公式訪問がガバナー補佐様のご協力により滞りなく終えることができました。そして各クラブ会長、幹事様には心温まる歓迎を賜りましたことに厚く感謝の意を申し上げます。

各々のクラブには色々と課題をかかえたり、長所短所もたくさんお持ちであろうと思いますが、一步一步着実に前進してゆかねばなりません。

今年度半期が経過しましたが、後半に向けて更なる情熱を傾けていただき、一步でも当初の目標に向けたご尽力をお願い申し上げます。

今年度、三次市で開催しました地区大会は、会員、並びにロータリー家族の皆様にとくさんご参加いただき、誠にありがとうございました。心配した天候も大会2日目には最高の秋晴れとなり、大会を盛り上げてくれました。G12が一丸となり激論を闘わせながら一生懸命のおもてなしをしたつもりであります。「一期一会」と掲げましたが一回きりではございませんので、どうか機会をつくって足を運んでください。この大会にむけて実行委員会は、私の出席した回数だけでも30回以上でありました故に相当の力がはいったものでありました。このことが、将来にむけてG12の飛躍となるように切望するものであります。

R I 理事会は毎年1月をロータリー理解推進月間に指定しています。会員はもとより、一般市民にもロータリーをよく知ってもらうためのプログラ

ムを実施する月間であります。

地域社会へのロータリーの宣伝は極めて消極的でありましたが、現在は「陰徳」の対極に「知らせざる罪」もあるということで、ロータリーとは何か、会員自身がよく理解・納得してその存在を広報していこうということでもあります。

人をみて法を説けということがあります。強調する点は「一業種一会員制」が基本にあります。会員は、それぞれの職業を代表する地域のオピニオン・リーダーであります。ロータリーの魅力は、年齢や入会年数に関係なく、会員が平等・対等にその道のプロの人達と職業意識を高めていけるといふところにあります。お互いに自分の知らざる所を学びあい、知的・精神的にさらに成長し、出席・参加が楽しみとなり、大切な友達も増えてくることとなります。

ポール・ハリスは「親睦と奉仕とは同じレベルの概念としてとらえるべきである。この両者は、ロータリー・クラブという社会制度において表裏一体の関係にある。いずれを優先させてもいけない。ロータリーは親睦と奉仕の調和の中に宿る」と言っています。

今年度後半に向けて、更なる向上がありますように宜しく願い申し上げます。

公式訪問のお礼

7月13日の周南西RCを皮切りに、地区内74クラブの例会を廻らせていただいたガバナー公式訪問は、12月21日の吉舎RCで無事終えることができました。

各クラブには丁寧なお迎えを賜り、心より感謝申し上げます。今後の益々のご発展をお祈り申し上げます。

代表幹事 木村 易三 ほか随行幹事一同



ロータリー理解推進月間によせて

パストガバナー 諏訪昭登

ロータリーの水に漬かってみよう

R I 理事会は一人ひとりのロータリアンが、各月間目標について熱心にロータリー活動に参加するよう要請しております。年間10の強調月間を指定しており、今月は表記の月間であり、各ロータリアンがロータリーについての知識と理解を一層深めると同時に、ロータリアン以外の一般市民にも、ロータリーのことをよく知ってもらうためのプログラムの実施に努める月間ということです。辛口に申しますと、もともとロータリアンの中でロータリーへの理解と意識の足りない人々が目に余るようになったことへの、対内的研修強化を呼びかけた月間として出来たものと思います。時代の流れで近來、人道的奉仕活動の拡大発展に伴う、人的、財源的拡大のニーズが加速されたことにもその起因があると思える対外的、即ち“ロータリーの公共的イメージ向上”がクローズアップされてきました。その結果、当月間是对内的自己研修強化に加え、対外的、いわゆる広報を認識して、人類への奉仕推進のためのパブリシティを強く求めるものとなったと考えます。

本年度、私は地区広報委員会カウンセラーの任に当たっています。年度準備のための地区協議会で述べたことは、ガバナー在任中に各クラブへ要請したことと同様になりました。現状のロータリーでは特に必要なこととして、対内、対外の調和を充分考慮して進めなければならぬと強く要請したかったのです。

私が申したことは、①会員基盤の強化～現今の日本ロータリーの目を覆うばかりの低落は、経済不況ばかりの原因とせず、ロータリアンの誇りと使命感の低下が引き金となっていると考えられます。クラブ研修リーダーの責任において、継続的研修プログラムの実施をお願いしました。②クラブ運営の充実～ロータリーの平等対等原則を守って民

主的クラブ運営を行うことで、社交クラブとしての暖かいムードの中で正しいロータリー精神を培い、最大目的たる職業奉仕に徹する人生を目指そう、ということでした。

R I は長期計画を一次二次と発表し、公共イメージ向上をランクアップさせ、2010～13年度の第三次長期計画では、三つの重点目標の一つに“公共イメージと認知度の向上”を挙げています。(他の二つは“クラブのサポートと強化”“人道的奉仕の重点化と増加”)ロータリーは“不易流行”の心で、時代変化に伴う組織、実施法則などの改革は慎重に進める必要を認めますが、基本理念“サービスの理念”(奉仕の理想)を決して忘れず、不易のものとして推進すべきものと考えます。本末の転倒は絶対に避けながら、世のため人のために役に立つことを目指した倫理運動として、ロータリーを柔軟に取り組むことが肝要であります。そのようなことを踏まえて申しますと、当月間是对内的には充実した研修の成果を期待し、対外的には最も基本的な広報源は一人ひとりのロータリアンであり、自信をもってロータリーを語り、身をもって実践で示すことこそ強調されているものとお理解ください。

ロータリアンは、ロータリー精神(サービスの理念)の中に一切の生活が没入していることが理想であります。今治 R C 森光繁パストガバナーは「カゴに水を入れようとすると入り難いが、水の中へカゴを入れれば良いのだ」と著書「ロータリーの本」(1951年第4版P.92)に書いています。水とは奉仕の理想そのものであります。ロータリアンは多忙な生活の中とは言いながら、カゴに例えられる自らをどっぷりとロータリーの水に漬かってみる気持が、今こそ必要なのではないのでしょうか。全てはそこが原点であるべきものと思っています。



GOVERNOR'S MONTHLY LETTER 2010-2011

BUILDING COMMUNITIES-BRIDGING CONTINENTS/地域を育み、大陸をつなぐ



ロータリー研究会に臨んで

ガバナー 前田 茂

ロータリー研究会が、今年は近藤雅臣R I 理事の地元、大阪国際会議場とリーガロイヤルホテルで開催されました。

それに先立ち、ロータリー財団地域セミナーが前日に開催され、元R I 理事恒久基金日本委員会アドバイザーの南園義一バスターガバナーをはじめ、地区財団委員会カウンセラー川妻二郎バスターガバナー、松本茂太郎ロータリー財団地域コーディネーター補佐、ガバナー、ガバナーエレクト、ガバナーノミニ、そして昨年度・今年度地区財団委員長が出席しました。

プログラムでは100年に一度のR財団改革、未来の夢計画、ロータリー日本財団の今、2億ドルチャレンジ、ポリオ根絶への歩み、ロータリー平和フェローの体験など、盛りだくさんでありました。

黒田正宏R I 理事はあいさつの中で、日本の会員数は25%の減少をみているが、R財団1人当りの寄付額は上昇していることで面目は保っているが、今やR財団は大きく変わろうとしている。国際ロータリーとR財団が別々に歩むのではなく、長期計画に基いて力づくに進む必要があるとのべられ、田中作次R I 会長ノミニ年度を期として、躍進に向け努力していかなければならないとのべられました。

続いてガバナー協議会が開催され、ガバナー会との関係を明確に定義する必要があるという指摘も出されました。ガバナー協議会は単年度で組み替えられるガバナー会の小委員会(専門委員会的考え方)としてサポートしていこうとするもので、「現在Eクラブを設立する際に考えられる諸問題とその検討」について協議、情報提供をしていただいております。引き続きガバナー会が開催されましたが、同時進行で田村年度のGETSが開催され、早、次年度へ向けての準備に入ってくる時期となっていくわけであります。

ガバナー会では、同期ガバナーの会「B.Cひかるの会」と名称を決め、今後の交流を約束しました。

「B.C」とはBuilding Communities, Bridging Continentsの頭文字をとって、「ひかる」はレイ・クリングスミスR I 会長、上野操ガバナー会議長そろって頭上がひかり輝いているという意味であります。

近藤雅臣R I 理事、黒田正宏R I 理事のあいさつの中で印象深いことは、今年度規定審議会代議員の決定をすること、これから地区の統合・分割が進められていくこと、クラブの活性化、無駄をなくす改革が進められること、RACとIACをあわせた組織をつくる(新世代委員会)、ロータリー章典6章(コミュニケーション)、7章(会合)などを中心に再編集をしていく、Eクラブのガイドブックの作成をするでありました。

初日11月25日(木)は、レイ・クリングスミスR I 会長、カール・ヴィルヘルム・ステンハマーT・R・F管理委員長ご夫妻歓迎晩餐会が開催されました。ステージも若いOSMゴスペルアンサンブルのスペシャルライブで、青年にもどった気分が酔いしました。

翌11月26日の第39回ロータリー研究会は開会セレモニーから始まり、レイ・クリングスミスR I 会長の基調講演から本格的セッションに入っていました。レイR I 会長は、ニュー・ゼネレーションの参加の場、増強、新世代プロジェクトの実施、公共性イメージの向上にむけて広報補助金を200万ドルから400万ドルに増やす。長期計画では、地域社会とのネットワークを強調されました。また、エド・フタ事務総長は、日本の会員減少を、戦国武将の豊臣秀吉、徳川家康、伊達政宗になぞらえて、若い世代が新しい時代をつくったことをのべ、今チャレンジの時にあると強調されました。

このように、次なる年度に向け、日本の新しい出発を期待するものでありました。毎年R I 1,2,3ゾーンのロータリー研究会が有意義に開催されますことは、ロータリー・リフレッシュの最高の3日間でありました。



ガバナー年度を前に

ガバナーエレクト 田村 泰三

～2011-12年度の夜明け～

2011-12年度のR I 会長はインド人のカリアン・バネルジーさんです。インド西北部で肥料を生産する化学工業の会社を経営しています。インド人としてR I 会長になるのは3人目です。日本もその翌年は田中作次さんが選ばれ、同じく3人目になります。

そのバネルジーさんがどのようなR I テーマを掲げられるかは、来年1月の国際協議会で発表されるまでは解りませんが、彼は自分と郷里に近いマハトマ・ガンジーを大変尊敬していると言っています。

私は地区の信条として「ロータリーで楽しむことを学ぶ」を掲げ、皆さんとともにロータリー活動を楽しむ方法を探したいと思います。それには感激の多いロータリーの奉仕活動が必要です。無理をしないで、感激の多い奉仕活動を見つけることは決して容易ではありません。地区はR I と力を合わせてクラブの奉仕活動を支援したいと思っています。

その準備の一つとして、国際奉仕の視察をするためにインドネシアのバリ島、タマン・ロータリー・クラブを訪問する予定です。1994-95年度の筒井数三ガバナーのときに婦人検診車を寄贈されました。この人道支援の大きなプロジェクトのその後を学び、更なる国際奉仕を検討したいと思っています。地区内のクラブは多くの国際奉仕を経験しています。

この様な国際奉仕が、2013-14年度からのロータリー財団“未来の夢計画”によってさらに発展するような布石を作りたいと思っています。

次年度は、1つの国際奉仕を1つのクラブで担当するだけでなく、複数のクラブで経験できることも試みとして、地区から呼びかけたいとも思っています。この様にして、地区内のすべてのクラブが国際奉仕、あるいは世界社会奉仕(WC S)に参加できることを目標にしたいと思っています。

地域の社会奉仕においては、各クラブの地域社会のニーズに応じた社会奉仕を検討して下さることを希望しています。新しいプロジェクトを少なくとも1つ検討してみてください。そのヒントの1つとして、次のようなことも検討してみたいと思っています。

日本は高齢化社会を迎えて、認知症のケアという大きな問題を抱えるようになっていきます。この認知症のケアは、専門職の人と家族に委ねられています。しかし、専門の施設や家庭の中だけでは不十分です。社会の中で支えることが必要とされており、そのためには一般の人も可能な範囲で認知症のケアを理解することが不可欠です。このような役割を果たすためにロータリー・クラブの社会奉仕としてのプロジェクトを検討したいと思っています。認知症ケアの専門家に“社会が支える”とは、どのようなことをすればいいのかを指導していただくことも検討したいと思っています。

ロータリー・クラブの奉仕活動は、五大奉仕にバランスのとれた活動が組まれることを期待されています。すべての会員の皆さんとともに、時代の変化に応じ、ロータリー活動を楽しむことを学ぶ1年になりますように努めたいと思っています。





特集／2010-11年度 ロータリー財団 地区補助金申請事業

各クラブから「どんなプロジェクトが地区補助金の対象になるの?」という質問をいただくことがあります。ここでは本年度の財団補助金対象となった20の申請事業を紹介いたします。各事業とも補助金額の上限は17万円で、補助金総額は327万円です。広島北RC・広島東RC・広島空港RC・徳山東RCから補助金の報告書が届きましたので、ここに掲載させていただきます。

広島北ロータリークラブ 補助金額 170,000円

プロジェクトの概要

広島本通り商店街振興組合へAEDを寄贈し、管轄交番に設置するプロジェクト
内 容

最近、AEDの設置箇所が増えてきました、デパート・ホテル・病院など色々なところに設置されています。しかし、24時間使用できるAEDはそんなにありません。

中国地方でも有数の広島商店街は夜遅くまで多くの市民が訪れます、この商店街を歩いてみても「AED設置」などの看板は見当たりません。こんな場所にAEDを設置できれば市民も安心して過ごせると思いました。そこで、中四国で最大規模といわれる広島本通交番に白羽の矢を立てることにしました。

このAED設置により多くの市民が24時間安心して過ごせる本通商店街となることを願っています。

経 過

■2010年8月19日(木)

例会時に広島本通商店街振興組合との協力の下、広島中央警察署山根署長をお迎えして、AED贈呈式を行ないました。

■2010年8月19日(木)

例会終了後、AEDを設置するにあたり、本通交番の警察官、商店街で働く人と青少年総勢40名で普通救命講習を開催いたしました。

■2010年8月26日(木)

例会終了後、広島本通交番にAEDの設置をしました。



8月27日(金)中国新聞朝刊掲載

広島中央ロータリークラブ プロジェクトの概要 補助金額 170,000円

広島原爆養護老人ホーム舟入むつみ園にAEDを寄贈ならびに心肺蘇生法講習会を実施するプロジェクト。

西条ロータリークラブ プロジェクトの概要 補助金額 170,000円

地域の水保全の為、「西条・山と水の環境機構」と協同で、竜王山および近郊の山の伐採作業を実施し、その作業に伴う機器を機構へ寄贈するプロジェクト。

呉ロータリークラブ プロジェクトの概要 補助金額 170,000円

在日外国人児童生徒の多くは、日本語が分からない為、日常生活に支障をきたし、また学校の授業についていけず、学力が低下している状況にある。これらの児童生徒の日本語学習支援のため、市民ボランティアグループ「ワールド・キッズ・ネットワーク」に教材を寄贈するプロジェクト。

広島廿日市ロータリークラブ プロジェクトの概要 補助金額 170,000円

宮内地区コミュニティづくり協議会と合同で、廿日市市御手洗川の清掃および植樹を実施するプロジェクト。

広島安芸ロータリークラブ プロジェクトの概要 補助金額 170,000円

広島みなと公園さくら植樹のプロジェクト。

下関北ロータリークラブ プロジェクトの概要 補助金額 170,000円

下関市内小学校にネットランチャー(ネットを飛ばして不審者を絡め取る防犯器具)を寄贈するプロジェクト。

岩国中央ロータリークラブ プロジェクトの概要 補助金額 170,000円

岩国市所有地に市内小学生と一緒に広葉樹150本を植林するプロジェクト。

萩東ロータリークラブ プロジェクトの概要 補助金額 170,000円

萩市内高校生製作による木製ベンチをバス停に設置するプロジェクト。

三原ロータリークラブ プロジェクトの概要 補助金額 170,000円

三原市消防本部にAED(自動体外式除細動機)訓練器寄贈のプロジェクト。

R財団地区補助金申請準備は出来てますか？

～2011年3月から申請を受付予定です～

2710地区R財団委員長(2011～12) 福田 敏 勝

2710地区R財団補助金担当委員(2011～12) 益 本 雄 二

早いもので新年度の地区補助金申請の時期がやって参りました。各クラブに於かれましては、新年度の会長人事と合わせてR財団委員長を決定され、補助金の申請準備をお願い致します。



広島東ロータリークラブ

補助金額 170,000円

プロジェクトの概要

広島原爆養護施設「矢野おりづる園」に車椅子を寄贈するプロジェクト。

＜地区補助金申請の経緯＞

- (1) 2010年2月19日、次年度高木一之会長から会長賞受賞のため、国際奉仕部門で地区補助金を申請することによって全体で25点となり、受賞資格の要件が満たされるという提案を受ける。
- (2) 2010年3月10日、地区補助金申請のための次年度R財団・社会奉仕合同委員会を開催。
- (3) 国際ロータリー第2710地区2010～11年度地区補助金は全体で360万円、申請期間は3月1日～4月30日までで、申し込み順20件までとされ、1件あたり17～18万円の金額に分割される。当クラブは必要書類を作成、準備し3月次年度理事会で承認の後、3月24日に地区事務局へ申請を行った。
- (4) 2010年8月2日、地区経由にてR財団日本事務局から申請された地区補助金について、地区事務局より支給決定通知が届く。地区内で30件の申し込みの内、3番目に承諾された。



＜地区補助金プロジェクトの実施＞

2010年10月6日(水)15:30より広島原爆養護ホーム「矢野おりづる園」にて車椅子の贈呈式が行われた。贈呈式には、矢野おりづる園から柿木田勇施設長、村田伸夫本部事務長、松永幸枝統括主任、坂本明德生活相談員、当クラブから高木会長、堤田幹事、瀬川国際奉仕理事、鶴野政人社会奉仕理事、下原R財団委員長、広報・会報委員会代理として、三上副幹事が出席し、高木会長から「多機能介助式車椅子6台」の目録が柿木田施設長に手渡され、柿木田施設長からは礼状が交付され、「今までとは違った多機能式で便利な車椅子を戴き感謝いたします。大事に使用させていただきます。」と謝辞が述べられた。

それから、6名の入所者に早速試乗いただいたところ、多機能の便利さに大変喜んでいただいた。続いて園内の施設を案内して戴き、養護ホームの内容を良く理解することができた。

また、贈呈式の様子は中国新聞社より取材を受け、翌日10月7日の朝刊26面に掲載していただき、一般の人々にロータリーの活動を少しでも周知して頂いた事と思っている。

平成22年10月7日(木)
中国新聞朝刊



呉東ロータリークラブ

プロジェクトの概要 補助金額 110,000円

中華人民共和国大連市向応中学に現地学生と共同でさくらを植樹するプロジェクト。



広島西南ロータリークラブ

プロジェクトの概要 補助金額 170,000円

広島市内河川敷の環境ボランティア「ポップラペアレンツクラブ」に集草機を寄贈するプロジェクト。



福山西ロータリークラブ

プロジェクトの概要 補助金額 170,000円

特定非営利活動法人「希望のいりぐち」運営の知的障害者通所作業所に冷暖房機器を寄贈するプロジェクト。



福山北ロータリークラブ

プロジェクトの概要 補助金額 170,000円

社会福祉法人「東光会」に車椅子を寄贈するプロジェクト。



福山東ロータリークラブ

プロジェクトの概要 補助金額 110,000円

社会福祉法人「まほろば学園」に床走行式昇降リフト(床に横たわった人を吊り下げることができる)を寄贈するプロジェクト。



福山丸之内ロータリークラブ

プロジェクトの概要 補助金額 160,000円

広島県特定非営利活動法人「あいあい広場」の連絡通路にスロープを寄贈するプロジェクト。



竹原ロータリークラブ

プロジェクトの概要 補助金額 170,000円

在宅で末期がん療養をしている患者さんとその家族を支援する訪問ボランティアを行う際、良質で迅速な情報提供や情報交換をする為「広島ホスピスケアをすすめる会・竹原支部」に対しノートパソコンを寄贈するプロジェクト。



GOVERNOR'S MONTHLY LETTER 2010-2011

BUILDING COMMUNITIES-BRIDGING CONTINENTS / 地域を育み、大陸をつなぐ



広島空港ロータリークラブ

補助金額 170,000円

プロジェクトの概要

知的障害者達がパンを作る店「スワンベーカーリー」へ製造用器具、販売用什器、備品の寄贈のプロジェクト。

障がい者の社会参加、自立の道は大変きびしいものがあります。私達の地域で、知的障がい者施設「わくわく工房」とその家族が「自立」をめざして2000年にパン屋（スワンベーカーリー三原店）を開きました。経営状態は決してよくありませんが、現在まで頑張ってきています。しかし、パン作りの道具も老朽化しており、障がい者が使いやすい天秤や、什器、備品、分りやすい壁掛け障がい者時計も必要としています。自分達で購入する余裕がありません。

私たち空港ロータリークラブは、地区補助金を利用して、スワンベーカーリー三原店にこの道具を援助することにいたしました。そして、地区補助金の申請が受け入れられ、道具を援助することができました。この援助により道具の更新ができ、障がい者達がパン作りに尚一層励む事ができます。そして、焼きたての美味しいパンを地域に提供し続ける事が、販売促進、ひいては障がい者との共生を意識付ける事にもなり、障がい者の生活向上、自立への基盤づくりに役立つと考えます。



10月20日贈呈式(例会場にて)
「障がい者用時計」時間が読めない障がい者に優しい音色で“時”を知らせる壁掛け時計。



2001年3月から、毎月第1例会で前日に売れ残ったパンを会員達が購入。

贈呈式・納品・セッティングも終わり喜んで頂いています。



徳山東ロータリークラブ

補助金額 170,000円

プロジェクトの概要

知的障害者更生施設「第1しょうせい苑」にプラズマTV寄贈のプロジェクト。

日時：2010年11月24日(水)

場所：知的障害者更生施設 第1しょうせい苑

2011年7月25日の地上波デジタル放送への完全移行に伴い、プラズマテレビを寄贈しました。本テレビの寄贈により、継続的なテレビ視聴が可能になるだけでなく、一般的に財政的基盤の弱い当該施設にとって、その運営の助けにもなるものと考えます。

また、デジタル放送受信は、従来のテレビより格段に解像度が高く、日頃外出の機会の少ない施設入居者へより多くの施設外世界の情報を提供でき、自立への一助になるものと考えます。



贈呈式



談話室へ設置



■地区補助金申請が変わります

2710地区R財団委員長(2010-11) 小田 大 治
2710地区R財団補助金担当委員(2010-11) 藤 谷 博 義

本来、クラブの財力や人材が潤沢にあれば、R財団に寄付することなく、個人もしくはクラブ単位で奉仕活動が可能です。が、現実には不可能です。特に、ポリオ撲滅や平和及び紛争解決などについては到底無理です。従ってR財団によって世界中から集められた寄付をまとめることで可能にしていると理解しております。

地区においても同様に、地区としてまとめて実施する活動と、補助という形で参画する活動があります。いずれにしても一定のルールが存在し、現在は財団本部によって決定されます。従来日本

事務局を経由し英訳され、一括申請されておりましたが、経費削減に伴い翻訳されることなく日本語のまま本部に申請され、現地スタッフによって英訳されております。この点が新しい制度(2013年)に改正され、地区によって決定されることとなります。

地区R財団は、既にその準備のために夢計画準備委員会を設置いたしました。これまであきらめざるを得なかった文化的、教育的な活動なども申請の対象にすることも可能になります。ご期待ください。今年の寄付が3年後に役立ちます。



米山記念奨学生研修旅行報告

米山記念奨学会委員会 委員長 角田 守
(庄原RC)

今年度も、恒例の米山記念奨学生の皆さんと11月6日～11月7日に一泊二日の研修旅行を行いました。

参加者は、前年度米山委員長の近藤照雄さん(徳山東)、次年度米山委員長の細田正躬さん(岩国西)、地区学友会から島崎会長の代理で奥様の島崎京子さんと地区事務局員。残念ながら顧問の庄子佳良さんは欠席となりました。しかし、庄子顧問さんは奨学生の皆さんに対し熱い思いのメッセージを書いておられましたので、私が皆さんの前で代読させて頂きました。

さて、旅行当日は秋晴れで、快適な旅行日和となりました。広島駅を観光バス1台で出発し、一路島根県の世界文化遺産に登録されました石見銀山に向かいました。

石見銀山では、片道40分のコースを歩き、目的地のマブといわれる採掘跡まで全員でチャレンジ致しました。

次の観光地の出雲大社では、バスガイドさんが詳しい説明をしてくださり、日本の古い文化にも触れて頂く良い機会であった様に思います。また、親睦会を兼ねた夕食会では、奨学生の皆さん全員に自己紹介と簡単なスピーチをして頂きました。

そのスピーチの内容では、中国の皆さんは尖閣諸島の問題に触れながら、日本に対して大変申し

訳ない…中国のほんの一部の人の行動が、日本のメディアで大きく取り上げられている事に胸を痛めている様子が私達に伝わってきました。

私も、奨学生の皆さん全員に対し、我々ロータリアンは政治団体でも経済団体でもありません。ロータリークラブは真に奉仕の理想を普及する団体であって皆さんと皆さんの母国との友好を平和的に深めていく事がロータリークラブの目的である事を伝えました。

親睦会は2時間の予定をしていましたが、和やかな内にも本当に有意義な夕食会であったと思います。

次の日は、国宝松江城をバスの中から見ながら一路鳥取県の境港に向かい、ゲゲゲの鬼太郎で有名な「水木しげるロード」を散策してもらいました。

最後に「とっとり花回廊」で昼食を食べ、今回の研修旅行の一切を終了して広島駅に帰りました。2日間の旅行でしたけれども、参加者全員怪我もなく、トラブルもなく終る事が出来たことに深く感謝致しております。

最後に願う事は、奨学生の皆さんがやがて母国に帰られた時に、ロータリークラブの良き理解者になって頂きたい。また、日本の良き理解者になって頂きたい事です。



出雲大社で



山の幸を味わいました



石見銀山で



GOVERNOR'S MONTHLY LETTER 2010-2011

BUILDING COMMUNITIES-BRIDGING CONTINENTS / 地域を育み、大陸をつなぐ

クラブ紹介

青少年育成事業「エコちゃん日記」体験発表会／三次中央ロータリークラブ

三次市内小学校代表6校を対象に、8月から取り組んできた、環境と食を考える暮らしのエコチェック「エコちゃん日記」の体験発表会を、12月5日に酒屋コミュニティーセンターで開催しました。

三次市長、三次市教育長を迎え、児童、保護者、教職員、会員あわせて120余名が参加する中、代表13名の児童が家庭でできるエコ活動や提言などを実に堂々と見事な発表をしました。

続く基調講演では、元環境大臣斉藤鉄夫氏が「小学校の屋根の上から見た天の川」と題して、宇宙の神秘や地球環境の大切さをわかりやすくお話しくださいました。

講演会終了後は地産の食材を用いた「いも煮会」を行ない、参加者全員でおいしくいただき、親睦とロータリー広報活動を行いました。



斉藤衆議院議員の講演



体験発表する児童



「いも煮会」を楽しみました

「奄美地方豪雨災害義援金」に関する報告

この度の「奄美地方豪雨災害義援金」に関しましては、たくさんのご協力をいただきありがとうございました。

皆様からいただきました義援金総額2,305,045円は、11月24日に第2730地区(鹿児島)へ送金いたしましたのでご報告いたします。

ガバナー 前田 茂

(財)ロータリー米山記念奨学会ニュース ★ハイライトよねやま 130号★

2010年12月13日発行

今月のトピックス

1. 寄付金速報 ― 単月では過去10年で最低 ―
2. ガバナーエレクト・次期地区米山委員長の合同セミナー開催
3. 留学生対象の就職相談会を開催 ― 東京米山友愛RC ―
4. 米山学友が韓国ソウルRCの会長に就任

【重要なお知らせ】・税制上の優遇措置について
・年末年始の休業について

▼PDF版はこちらをご覧ください。

http://www.rotary-yoneyama.or.jp/summary/pdf/highlight130_pdf.pdf

2011年 1月		
1	土	
2	日	
3	月	
4	火	
5	水	
6	木	
7	金	
8	土	
9	日	
10	月	第3回諮問委員会
11	火	
12	水	
13	木	
14	金	
15	土	
16	日	国際協議会 23日まで／RA第3回地区協議会
17	月	
18	火	
19	水	
20	木	
21	金	
22	土	IA第2回顧問教師打合せ/第3回GSEオリエンテーション
23	日	第5回青少年交換委員会・オリエンテーション
24	月	
25	火	
26	水	
27	木	
28	金	
29	土	第3回ガバナー補佐会議【田村年度】 田村年度地区研修セミナー RID3690地区IA来日 日韓親善歓迎式
30	日	米山記念奨学生選考試験
31	月	

2011年 2月		
1	火	
2	水	
3	木	
4	金	
5	土	G4 IM 中四国青少年交換学生合同オリエンテーション
6	日	中四国青少年交換学生合同オリエンテーション G2 IM
7	月	
8	火	
9	水	
10	木	
11	金	第23回全国RA研修会 1日目
12	土	第23回全国RA研修会 2日目
13	日	RCC地区大会
14	月	
15	火	
16	水	
17	木	
18	金	R財団国際親善奨学生 書類選考会
19	土	G9 IM
20	日	G1 IM
21	月	
22	火	
23	水	
24	木	
25	金	
26	土	G6・G7 合同IM
27	日	G8 IM
28	月	

2011年3月		
1	火	
2	水	
3	木	
4	金	
5	土	米山記念奨学会歓送会
6	日	G10・G11 合同IM
7	月	
8	火	
9	水	
10	木	
11	金	
12	土	G3 IM
13	日	PETS&地区チーム研修セミナー
14	月	
15	火	
16	水	
17	木	
18	金	
19	土	G5 IM
20	日	
21	月	柳井RC50周年
22	火	
23	水	
24	木	
25	金	
26	土	第6回青少年交換委員会・オリエンテーション IA韓国研修旅行
27	日	G12 IM IA韓国研修旅行
28	月	IA韓国研修旅行
29	火	
30	水	
31	木	

2011年 4月		
1	金	広島南55周年
2	土	福山北RC40周年 青少年交換 研修旅行
3	日	防府北RC30周年 青少年交換 研修旅行
4	月	
5	火	
6	水	
7	木	
8	金	
9	土	RA年次大会 1日目
10	日	RA年次大会 2日目 第3期RLIバート①
11	月	
12	火	
13	水	
14	木	
15	金	
16	土	第4回ガバナー補佐会議【田村年度】三次RC50周年
17	日	米山記念奨学生オリエンテーション
18	月	
19	火	
20	水	
21	木	
22	金	3690地区 地区大会 韓国
23	土	3690地区 地区大会 韓国
24	日	三原RC50周年・RA次年度指導者研修会 R財団国際親善奨学生面接
25	月	
26	火	
27	水	
28	木	
29	金	
30	土	

2011年 5月		
1	日	G10・11合同 GEを囲む会【田村年度】
2	月	
3	火	
4	水	
5	木	
6	金	
7	土	
8	日	
9	月	
10	火	G9 GEを囲む会【田村年度】
11	水	
12	木	
13	金	G8 GEを囲む会【田村年度】
14	土	G1 GEを囲む会【田村年度】
15	日	地区協議会／第4回諮問委員会
16	月	
17	火	
18	水	G4 GEを囲む会【田村年度】
19	木	
20	金	
21	土	
22	日	RI年次大会 ニューオーリンズ 25日まで
23	月	
24	火	
25	水	
26	木	
27	金	
28	土	
29	日	R財団奨学生オリエンテーション・前年度合格者壮行会
30	月	
31	火	

2011年 6月		
1	水	
2	木	
3	金	G3 GEを囲む会【田村年度】
4	土	G5 GEを囲む会【田村年度】
5	日	第6回ガバナー補佐会議
6	月	
7	火	
8	水	
9	木	
10	金	
11	土	G2 GEを囲む会【田村年度】
12	日	第7回青少年交換委員会・歓送迎会 IA第33回指導者研修会(山口地区)
13	月	
14	火	
15	水	
16	木	
17	金	
18	土	
19	日	
20	月	
21	火	
22	水	
23	木	
24	金	
25	土	
26	日	第3期RLIパート②
27	月	
28	火	
29	水	
30	木	



GOVERNOR'S MONTHLY LETTER 2010-2011

BUILDING COMMUNITIES-BRIDGING CONTINENTS / 地域を育み、大陸をつなぐ

国際ロータリー第2710地区 2010-11年度/74RCの会員増減・出席率

クラブ名	出席率(%)		当 月 例会数	会員数(人)								
	当 月	平 均		年度初 (7/1)	前月末	当 月				本年度		
						入会者	退会者	末日	内女性	入会者	退会者	増減
グループ1 7クラブ												
長 門	79.03	85.50	4	34	32	0	0	32	5	0	2	▲ 2
下 関	87.50	89.43	4	49	48	1	0	49	0	1	1	0
下 関 中 央	84.67	89.03	4	30	31	0	0	31	5	1	0	1
下 関 東	75.26	80.85	4	52	53	0	1	52	0	2	2	0
下 関 北	77.15	84.16	4	42	42	0	1	41	0	1	2	▲ 1
下 関 西	94.95	94.28	3	30	33	0	0	33	1	3	0	3
油 谷 湾	100.00	100.00	3	13	14	0	0	14	0	1	0	1
計	85.51	89.04		250	253	1	2	252	11	9	7	2
グループ2 7クラブ												
萩	89.12	91.52	4	57	57	0	0	57	0	1	1	0
萩 東	94.78	96.24	4	24	24	0	0	24	0	0	0	0
美 祢	71.43	74.80	4	27	28	0	0	28	0	1	0	1
小 野 田	83.90	84.49	3	49	49	1	0	50	0	2	1	1
宇 部	91.26	89.01	4	52	54	0	1	53	2	2	1	1
宇 部 東	69.84	73.24	3	20	21	0	0	21	4	1	0	1
宇 部 西	85.94	87.79	4	51	51	1	0	52	1	1	0	1
計	83.75	85.30		280	284	2	1	285	7	8	3	5
グループ3 7クラブ												
防 府	90.03	89.96	4	61	62	1	1	62	0	3	2	1
防 府 北	89.29	92.85	4	20	21	0	0	21	2	2	1	1
防 府 南	86.67	85.89	4	30	30	0	0	30	4	2	2	0
山 口	93.43	94.82	3	51	57	0	0	57	3	6	0	6
山口中央	86.00	86.80	4	7	8	0	0	8	3	1	0	1
山口県央	97.62	98.54	4	35	36	1	0	37	1	2	0	2
山 口 南	80.05	79.62	4	38	39	0	0	39	3	1	0	1
計	89.01	89.78		242	253	2	1	254	16	17	5	12
グループ4 5クラブ												
光	93.47	95.04	5	50	50	0	0	50	0	1	1	0
周 南 西	100.00	100.00	4	40	41	0	0	41	2	1	0	1
徳 山	96.14	97.07	4	41	47	0	0	47	1	7	1	6
徳山セントラル	87.93	91.54	4	28	29	0	0	29	1	2	1	1
徳 山 東	98.64	98.33	3	50	50	0	0	50	0	0	0	0
計	95.24	96.40		209	217	0	0	217	4	11	3	8
グループ5 5クラブ												
岩 国	79.68	82.19	3	59	61	1	0	62	0	4	1	3
岩国中央	86.60	88.08	3	43	44	0	0	44	3	1	0	1
岩 国 西	79.04	86.65	4	63	64	0	0	64	2	2	1	1
柳 井	100.00	100.00	4	28	28	0	0	28	2	0	0	0
柳 井 西	98.21	97.23	4	28	28	0	0	28	2	0	0	0
計	88.71	90.83		221	225	1	0	226	9	7	2	5
山口県計	88.44	90.27		1,202	1,232	6	4	1,234	47	52	20	32
グループ6 7クラブ												
広 島	98.78	98.02	4	121	126	0	0	126	1	7	2	5
広島安芸	100.00	98.89	4	38	39	0	0	39	2	1	0	1
広島安佐	86.96	90.40	4	22	23	0	1	22	1	1	1	0
広 島 東	97.49	96.94	3	93	96	0	1	95	4	5	3	2
広 島 北	100.00	100.00	4	78	78	0	0	78	0	2	2	0
広島陵北	98.33	96.69	3	41	40	0	0	40	0	0	1	▲ 1
大 竹	80.15	80.37	4	33	34	0	0	34	0	2	1	1
計	94.53	94.47		426	436	0	2	434	8	18	10	8



2010年 11月度

クラブ名	出席率(%)		当 月 例会数	会員数(人)								
	当 月	平 均		年度初 (7/1)	前月末	当 月				本年度		
						入会者	退会者	末日	内女性	入会者	退会者	増減
グループ7 7クラブ												
広島中央	100.00	100.00	4	57	59	0	0	59	5	3	1	2
広島廿日市	91.67	90.64	4	35	35	1	0	36	1	2	1	1
広島城南	96.51	96.88	4	41	43	0	0	43	1	2	0	2
広島南	96.50	97.14	4	84	89	0	0	89	0	6	1	5
広島東南	100.00	100.00	4	85	88	1	0	89	8	5	1	4
広島西南	98.36	99.59	4	63	62	0	0	62	3	1	2	▲1
広島西	99.68	99.89	3	85	82	0	0	82	0	0	3	▲3
計	97.53	97.73		450	458	2	0	460	18	19	9	10
グループ8 7クラブ												
江田島	88.89	85.04	4	19	19	0	0	19	0	0	0	0
東広島	99.22	98.41	4	31	32	0	0	32	2	1	0	1
東広島21	92.63	94.62	5	17	19	0	0	19	4	2	0	2
呉	93.87	93.83	4	69	70	1	0	71	0	3	1	2
呉東	88.70	88.50	3	32	30	1	0	31	0	1	2	▲1
呉南	87.76	89.64	4	46	47	1	0	48	3	2	0	2
西条	100.00	99.38	4	52	51	0	0	51	3	1	2	▲1
計	93.01	92.77		266	268	3	0	271	12	10	5	5
グループ9 7クラブ												
広島空港	85.19	81.33	3	26	27	0	0	27	2	1	0	1
因島	88.34	91.45	4	28	30	0	0	30	2	2	0	2
三原	84.82	87.86	4	68	66	2	0	68	2	2	2	0
尾道	84.92	86.09	4	72	72	0	0	72	1	3	3	0
尾道東	92.44	88.27	4	55	55	0	0	55	1	0	0	0
瀬戸田	83.30	85.10	3	15	12	0	0	12	0	0	3	▲3
竹原	90.00	90.83	4	37	38	0	0	38	4	1	0	1
計	87.00	87.28		301	300	2	0	302	12	9	8	1
グループ10 5クラブ												
府中	90.16	93.42	4	37	37	0	0	37	0	0	0	0
福山	92.75	94.84	4	83	84	0	0	84	0	2	1	1
福山東	81.16	87.16	3	52	54	0	0	54	0	2	0	2
福山丸之内	96.66	96.23	5	36	36	0	0	36	1	0	0	0
鞆の浦	92.15	87.98	4	34	35	0	1	34	0	1	1	0
計	90.58	91.93		242	246	0	1	245	1	5	2	3
グループ11 5クラブ												
福山赤坂	83.75	84.79	4	39	43	0	0	43	4	4	0	4
福山北	100.00	98.13	4	44	45	1	0	46	0	2	0	2
福山南	80.17	83.03	4	61	61	0	0	61	1	1	1	0
福山西	90.70	89.50	3	42	43	0	0	43	2	1	0	1
松永	89.55	90.05	5	43	43	0	1	42	0	1	2	▲1
計	88.83	89.10		229	235	1	1	235	7	9	3	6
グループ12 5クラブ												
吉舎	97.00	97.83	4	21	21	0	0	21	0	0	0	0
三次	76.78	85.28	4	43	43	0	0	43	0	0	0	0
三次中央	96.00	96.15	5	48	50	0	0	50	8	2	0	2
庄原	93.24	90.79	4	37	38	0	0	38	4	1	0	1
東城	83.33	84.42	4	19	20	0	0	20	1	1	0	1
計	89.27	90.89		168	172	0	0	172	13	4	0	4
広島県計	91.54	92.02		2,082	2,115	8	4	2,119	71	74	37	37
2710地区計	89.99	91.14		3,284	3,347	14	8	3,353	118	126	57	69



GOVERNOR'S MONTHLY LETTER 2010-2011

BUILDING COMMUNITIES-BRIDGING CONTINENTS / 地域を育み、大陸をつなぐ



G7 第2710地区グループ紹介

[広島中央・広島廿日市・広島城南・広島南・広島東南・広島西南・広島西]

G7ガバナー補佐

安部 憲明 (広島西RC)

グループ7は広島市を中心とした、西・南部と廿日市市を含む7クラブです。

広島南RCは今年度55周年を迎える歴史と伝統のあるクラブ。今までに3名のガバナーを輩出。テーマは「ロータリーに感謝と感動を」のもとアクセスディンギーヨットへの支援をはじめ活発な奉仕活動に取り組んでいます。

広島東南RCは、昨年度創立50周年を盛大に祝いました。今年度は原点に立ち返り親睦を充実してゆき、活発な奉仕活動に繋げる方針です。職業奉仕として「経営研究会」を充実、継続しています。また地区内でも女性会員が最も多いクラブの一つでもあります。

広島西RCは、昨年度創立40周年記念行事を挙行。その記念事業が意義ある業績賞を受賞。また40周年を機に始めた姉妹クラブとの青少年短期ホームステイ事業を本年度も継続しています。テーマは「ロータリーを楽しもう」。私達自身が参加し楽しいと思える活動をしようと呼びかけています。

広島中央RCは創立32年の伝統あるクラブ。テ-

マは「楽しく進んで奉仕を」。

奉仕の理想を、楽しく実践することで達成感、充実感、感動を実感するよう呼びかけています。多くの医師が会員であることから健康一口メモを企画、実施。また入会5年未満の会員対象に年3~4回研修セミナーを開催。

広島西南RCは、来年25周年を迎えます。テーマは「寛容と、親睦と友情の精神でロータリー」。来年に備えて会員増強に注力。また水保全プロジェクトにも力を入れています。

広島城南RCは創立16年。テーマは「ロータリーを学び、楽しみ、奉仕を」。ロータリーの歴史を学び、地域社会のニーズを把握して奉仕の新しい方向を見極めようと呼びかけています。

広島廿日市RCは創立16年。テーマは「行動し、前進する」。親睦と奉仕の行動の実践で、一步でも前進しようと呼びかけています。水保全活動やRCC活動等奉仕活動にも積極的に取り組んでいます。また、当クラブではIACとRCC両方持っていますが、これは当地区内でも2クラブのみです。

以上、グループ7のクラブ紹介といたします。

新会員紹介

(順不同)



高口 毅
下関RC
2010年11月29日
生命保険



瀧山 進
下関西RC
2010年12月1日
コンピューター



齋藤 哲雄
小野田RC
2010年11月17日
化学品製造業



山本 昌信
防府RC
2010年11月2日
地方銀行



久保 紳哉
山口県央RC
2010年11月9日
建築設計



宇野 宏
徳山セントラルRC
2010年10月25日
商業銀行



福原 耕二郎
広島廿日市RC
2010年11月1日
建築金物加工



森原 弘昌
広島東南RC
2010年11月8日
テレビ会議関係
業務全般



倉本 実
呉RC
2010年11月11日
ホテル



徳満 秀規
呉東RC
2010年11月10日
不動産鑑定士



沖松 勉
呉南RC
2010年11月2日
料理店(和食)



坂田 光徳
福山北RC
2010年12月3日
ホテル



文庫通信 (279号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万3千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

地区大会講演より

◎「喜びや感動が可能性を引き出す～遺伝子ONの生き方」村上和雄 2010 4p (D.2790)

◎「危機における決断～戦国武将に学ぶ」津本 陽 2010 2p (D.2660)

◎「資本主義はなぜ自壊したのか『日本』再生への提言」中谷 巖 2010 4p (D.2660)

◎「笑いの処方箋～笑いと長寿の科学」昇 幹夫 2010 2p (D.2660)

◎「野球を通して人を育てる」王 貞治 2010 4p (D.2650)

◎「あたり前の暮らしを求めて」倉本 聡 2010 15p (D.2510)

◎「世界の構造転換と日本の進路－2010年への視座」寺島実郎 2010 2p (D.2580)

◎「この国の行方」櫻井よしこ 2010 2p (D.2670)

◎「北海道の《食》の大いなる可能性、再発見！」小泉武夫 2010 14p (D.2500)

[上記申込先：ロータリー文庫(コピー/PDF)]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階
TEL(03)3433-6456・FAX(03)3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>
開館＝午前10時～午後5時 休館＝土・日・祝祭日

徳山東RCのアドレスが新しくなりました。

ホームページ (旧) <http://www.ycbi.ne.jp/~east-rc/> ⇒ (新) <http://www.tokuyama-e-rc.org>

Eメール (旧) east-rc@ycbi.ne.jp ⇒ (新) east-rc@tokuyama-e-rc.org

【表紙の写真】霧の海の名所「高谷山」から見る日の出(三次市)

三次盆地の中心には三つの川が集い、晩秋から初春にかけて濃い霧が発生します。瀬戸内海の穏やかな風景にも似た霧の海の情景は美しく、早朝の山頂で霧が静かに流れていく様を見ると、まさに「海」という表現が相応しいと感じます。

表紙写真の「霧の海と日の出」は常時見

られるものではなく、一定の気象条件が揃わなければ拝めません。何日も根気よく機会を待っている写真愛好者には脱帽します。

ただし霧下の街は陽がささず、お昼前になって太陽の顔が拝めるのです。主婦には洗濯物が乾かないと不人気ですが、四季の自然との共生も、昔から続いています。

国際ロータリー第2710地区事務局

所在地 〒732-0822 広島市南区松原町1番5号 ホテルグランヴィア広島6F

TEL : 082-506-0055 FAX : 082-263-2323

E-mail : info@ri2710.com URL : <http://ri2710.com/>

月信編集委員 丸田 洋司、増田 茂典、坂部 由香子、吉崎 秀峰、中島 清祐、竹田 則之

事務局員 岡崎 由美、布施 美佐子

2010年 RI国際大会

米国:ルイジアナ州

ニューオリンズ

2011年 5月21日～25日



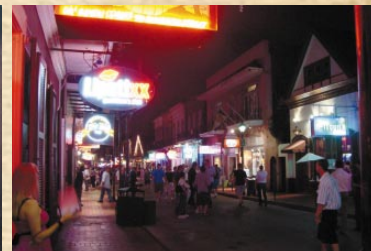
国際大会へのお誘い

ビートを刻み、ときめきを

国際大会推進委員
バスターガバナー **金子 信**



地区から50名以上の参加を



本年度の国際大会が、米国ルイジアナ州のニューオリンズで開催されます。私は、当地区前田茂ガバナーの下で、その参加推進委員会を担当しています。

ニューオリンズと聞けば、目に映るもの、耳に流れ込む音楽など、すべてがスペイン・フランス・アフリカ音楽の流れを受けている調和のとれた米国の歴史的都市であるだけでなく、'95年の大型ハリケーン(カトリーナ)による大災害が思い出されます。当時開催を予定されていた国際大会はやむなく見送られましたが、わずか5年で劇的な復興を遂げ、今回の開催に漕ぎ着けられた事は大変意義深く思います。

更には、さすがジャズ発祥地であるだけに、困難を克服しながらも決して楽しみを忘れないという精神が、この街の魅力を一層引き立てています。

R I会長レイ・クリングスミス氏は、この地が青年時代ロータリー奨学生として、アフリカのケープタウン大学に留学するために、ミシシッピ川下流の港から貨物船に乗り込み、南アフリカに向かった、大変思い出深い街と述べられています。

本年度R I会長の「地域を育み、大陸をつなぐ」というテーマはとても理解しやすく、また、当地区前田ガバナーの「ロータリーの絆をもとう～あくなき情熱と冷静で～」というテーマとの繋がりも汲み取れます。

私も過去幾度ともなく参加させて頂いた経験として、世界のロータリアンに持参したバナーや名刺を交換する時の、一瞬のときめきは今も鮮明に記憶していますし、また、旅を共にすることで、古くからの言い伝えに「同じ屋根の下で過ごし、同じ釜の食事をする」とあるように、一時期を共に生活することによって、お互いに胸襟を開き親しくお付き合いできる喜びは、今更私が言うまでもありません。

私の希望としては、地区内より50人以上の参加を頂き、来る来年の5月には、日本人参加者全員の朝食会や、ガバナー主催の夕食会でテーブルを囲み、ビートを刻み、リズムに乗った音楽であふれるニューオリンズの醍醐味を体験しようではありませんか。どうか多くの会員及び御家族の方々とお会いできる日を心待ちにしております。



早めの登録でお得な割引が受けられます

第1次締切は12月15日に終了しました。

第2次締切日<3月31日> 割引料金(340ドル)でお申し込みいただける最終日です。この日を過ぎると、大会登録料は380ドルとなります。

登録方法 登録には以下の方法があります。直接お申し込みください。

1.FAXあるいは郵送で、日本事務局へ

■登録様式をダウンロードできます。

<http://www.rotary.org/ja/Members/Events/Convention/Pages/ridefault.aspx>

2.会員アクセスページからオンライン登録

■登録後に確認通知がEメールで送られます。

<http://www.rotary.org/ja/selfservice/Pages/Login.aspx>

3.地元の旅行会社を通して



韓国第3690地区地区大会のご案内

第1日目 2011年4月22日(金) ラマダ松都ホテル

第2日目 2011年4月23日(土) 富川体育館

■ツアーのご案内

4月22日(金) ■広島空港・福岡空港から仁川空港に集合

■R I 会長代理歓迎晩餐会に出席

■3690地区との友情の時間ほか

4月23日(土) ■R I 第3690地区大会参加

■サムスン美術館見学／ガバナーを囲む夕食会

／漢江ナイトクルーズほか

4月24日(日) ■ソウル市内観光ほか／仁川空港から帰途



サムスン美術館

漢江ナイトクルーズ

R I 第2710地区
奉仕プロジェクト委員会
国際奉仕部会
部会長 **中島 諭**



当地区と韓国の第3690地区は1983年に姉妹地区縁組し、それぞれの地区大会や事業に参加し、お互いの交流を深めています。来年の4月には第3690地区の地区大会が実施されるということです。

この大会には当地区から多数のメンバーで参加し、大いに交流の輪を広げたいものと、広島空港と福岡空港よりの親善訪問ツアーを企画いたしました。お誘いあわせの上、是非ご参加くださいようご案内申し上げます。

取扱旅行会社: 広島内外旅行様 担当: 信国 TEL.0824-62-2830 FAX.0824-62-2897
各クラブにご案内と申込用紙を配信いたします。